

AX ON



受付  
18.3.05  
キャリアセンター

G

2019

ニーズをカタチに

**AXON**

RECRUITMENT BROCHURE

## 企業DNA

# 全員クリエイター主義

日テレ アックスオンは、創業以来「全員クリエイター主義」というスローガンを掲げ、それを企業DNAとして社員ひとりひとりの心に植え付け、映像制作の最先端を走ってきました。

そして、2010年1月15日、私たちはそのDNAをベースとした「企業理念」、そしてその理念に基づく「経営ビジョン」、また、その理念を実行するために全社員がどうあるべきかを定めた「AX-ON People Style」を制定しました。これが、私たちが果たすべき責任であり、社会に示す約束です。

## ニーズをカタチに

「ニーズ」とは、人々の「夢」と置き換えられます。「カタチ」とは、映像を含むビジュアルすべて。日テレ アックスオンは、すべてのお客様の夢をカタチにする企業です。優れた映像をとおして、私たちとつながる皆様を明るく、豊かにしたいという願いを企業理念に込めました。

## 映像のあるところには、すべての映像を！映像のないところには、新たに映像を！

現在映像のあるところにも、そして今は映像がないところも、すべて日テレ アックスオンの映像で満たしたい、それが私たちのビジョンです。テレビ番組・映画・CM・インターネットモバイル動画・デジタルサイネージなど、ありとあらゆる生活の場に私たちの創造するビジュアルが送り届けられることで社会がより楽しく、潤いに満ち、生産性が高まるものと考えています。新しさのその先を求めて、私たちは走り続けます。

## 生き生き きびきび 面白まじめに

「全員クリエイター主義」の企業DNAを持つAX-ON Creatorは、企業理念である社会のニーズを、新たな映像として創造していくために、つねに前向きに思考し、アグレッシブかつスピーディに行動いたします。コンプライアンスを遵守しつつ面白さに情熱をもやすバランス感覚こそ、新たな時代のクリエイターに求められる資質と考えます。

# AX ON

## POLICY

企業理念

経営ビジョン

AX-ON People Style

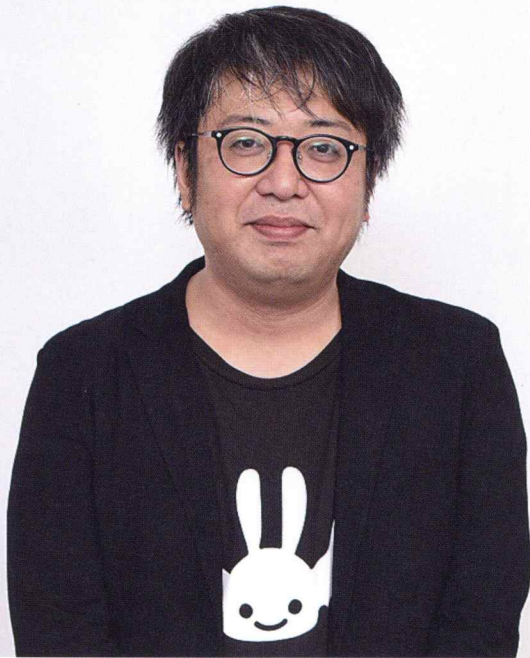
企業DNA

全員クリエイター主義

数年前に、自分が思いつくままに書いた「ヒガンバナ」という企画書が採択され、日本テレビの連続ドラマになりました。ドラマの経験は初めてで、正直戸惑いも後悔も多かったですが、それよりも自分の作品を創ったんだという達成感が大きかったのを強烈に覚えています。

自分が企画して、キャスティングし、ストーリーを創って、俳優が演じ、形になっていくのは何事にも代えがたい喜びです。その一点で、ドラマ制作はやめられなくなると思います。

## 「自分にしか創れないモノ」を創りたい。



作品に対してクリエイティブな面と、マネジメントする面の両面で接するので、非常にバランス能力が問われる仕事だと思います。それだけに成し遂げた喜びも大きく、創り上げたという思いが強いです。

多面的な能力が必要とされるので大変ですが、変に気負わず素直に物事を吸収する姿勢をもっている方と仕事をしたいです。

実務としてはドラマのプロデューサーの仕事には大きく分けて3つあります。

### ①作品の世界観を構築

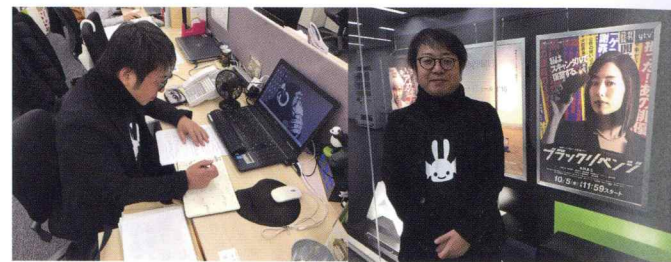
企画、ストーリー、キャスティングなどドラマのすべてのコンセプトを考える。

### ②プロモーション展開

ポスターデザイン、PR映像、番宣番組をどのように打てばよいかを考える。

### ③コスト管理

予算の中でいかに理想に近づけていくかを精査、コントロールする。



## ■ 尾上 貴洋

制作センター 制作1部 / 業界歴: 16年

### ● 主な活動歴

- 「スッキリ」チーフディレクター
- ドラマ「ヒガンバナ」企画・プロデューサー
- 24時間テレビドラマ「盲目のヨシノリ先生」プロデューサー
- ドラマ「孤食ロボット」プロデューサー
- ドラマ「ブラックリベンジ」プロデューサー

### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

「自分にしかできないことができた時」だと思います。現在はドラマを創っていますが、元々は情報番組で長年ディレクターをしていました。なのでどうしても、ドラマの企画やストーリーを創る上でリアルに起こった事件をヒントにしてしまいます。それが自分の持ち味だと思いますし、とてもやりがいを感じます。「ああこれは尾上が創ったドラマだな」と、何も言わなくてもわかってもらえるくらいのカラーを今後も出していけたらと思います。

入社5年目となった2017年は初めて監督業が9割を占めた年となりました。

NHK Eテレ「オリガミの魔女と博士の四角い時間」では初めて自分の企画以外でチーフ監督を務め、「企画者の意図する世界観を自分なりに解釈して作り上げる」という今までに経験したことがなかったステップを踏みました。3年目に自分自身の企画を通してチーフ監督を務めた際は、色々と至らず思ったように描けなかったことで苦い思いをしたので、その失敗をバネにやりたいことを限られた予算・時間の中で行いました。

## ■ 岩崎 マリエ

制作センター 制作1部 / 業界歴: 5年

### ● 主な活動歴

- NHK BS「タイムスパイラル」(2015)演出
- NTV「デスノート」(2015)演出
- ウェブドラマ「走れ! サユリちゃん」(2015)企画・演出
- Hulu「Crow's Blood」(2016)監督補
- Hulu「銭形警部〜真紅の捜査ファイル〜」(2016)演出
- NHK「オリガミの魔女と博士の四角い時間」(2017)演出
- Hulu「雨が降ると君は優しい」(2017)演出



結局達成できなかったこと、不完全燃焼に終わったことはあったものの、以前の自分に比べたら比較できないくらい成長していたことに喜びを感じました。

またHuluオリジナル「雨が降ると君は優しい」ではセカンド監督を務め、「野島ワールド」の本の難しさに頭を抱えながら不安いっぱいの中で監督業を行いました。撮影中は俳優部さんと意見が合わずに撮影を止めてでも話し合うこともあって、今までに



## 目指せ、日テレ1の女子監督!

ないほどのプレッシャーや自分の未熟さを感じて体調を少し崩してしまったのですが、撮影後に玉山鉄二さんや野島伸司先生、他のスタッフの方々から直接フィードバックやアドバイスをもらって励ましてもらい、「ああ、頑張って本当によかった」と思えました。

### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

ドラマの仕事では私たちの苦勞が全て映像になって残ります。ふとしたシーンにも「この時後ろでドア押さえてたなあ」とか「この美術原稿、頑張ったからいい絵になってるな」とか、沢山の思い出で溢れています。しかもそれを共有できる仕事仲間は、3~4か月辛い中を一緒に過ごしたぶん家族のように思える。なので、撮影と一緒に頑張ったスタッフさんと食事に行き思い出話をするとき「この仕事をやって本当に良かった」と思います。

「絶対に映画を撮る!」そう思い続けて19年…今年念願の映画を初監督させていただきました。タイトルは「HiGH&LOW THE MOVIE 2/END OF SKY」「HiGH&LOW THE MOVIE 3/FINAL MISSION」ハリウッドに負けないスケールのセットとアクション、豪華なキャスト、邦画界きっての超大作を2本連続で撮影するという怒涛のプロジェクトに、1年間たっぷり参加しました。興行収入も2週連続第1位を獲得! 監督として、まさにエポックメイキングな珠玉の1年になりました。

僕の監督デビューは20代の半ば、CMの仕事でした。その後、湘南乃風やRIP SLYME、KICK THE CAN CREWのミュージックビデオを監督、30代の後半に連続ドラマの監督。その流れで4年後に映画を撮るチャンスをいただきま



■ **中荃 強**

制作センター 制作1部 / 業界歴: 19年

● **主な活動歴**

- 映画: 「HiGH&LOW THE MOVIE 2/END OF SKY」監督  
「HiGH&LOW THE MOVIE 3/FINAL MISSION」監督  
スカイツリーショートフィルム「ソラノネ」監督  
高雄映画祭招待作品(台湾)
- 連続ドラマ: SHARK、近キョリ恋愛、マジすか学園5、  
いつかティファニーで朝食を  
HiGH&LOW SEASON2、キャバすか学園 監督
- ミュージックビデオ: AK-69 "PUBLIC ENEMY"  
SPACE SHOWER MUSIC VIDEO AWARDS  
「BEST HIPHOP VIDEO」受賞
- CM: 木下工務店シリーズ、THEグローバル社



した。「チャンス」…そうですね、AX-ONにはチャンスがたくさん転がっています。それに気がつけるかどうか、勝負の分かれ道です。ボクの場合、湘南乃風のミュージックビデオでショートフィルムを制作した際、ドラマ担当の先輩に、インターンシップPartyの休憩室で出会い、「作品を見てください!」と迫ったのがきっかけです。半年間「いかがでしたか!？」と連絡し続けました(笑)。そこ



「HiGH&LOW THE MOVIE 2/END OF SKY」  
「HiGH&LOW THE MOVIE 3/FINAL MISSION」  
©2017「HiGH&LOW」製作委員会

「自分の好きなこと」を徹底的に突き詰めて、信じること。  
それが積み重なった時に「自分らしさが生まれる」それが監督。

から僕の人生は一変しました。今思えば、この“行動”にともなう“出会い”が4年後に映画を撮るきっかけでした。

「好きなこと」を明確に持っていれば「やる気の電波」として発せられ、同じ気持ちを持っている人が“必ず受信”してくれます。それがAX-ONという会社です。みなさんも是非「自分の好きなこと」をとことん突き詰めてください。

そして、必ず目標を立てましょう。根拠はいりません。目標は高ければ高いほど“やりがい”として輝きます。僕は「映画を撮る」ことでした。例えて言えば、人生という大海原に「目標という灯台」を建ててみる。時には海が荒れて、途中で迷うかもしれないけれど、灯台の光さえ見失わなければ、どんなに遠回りしても、絶対に到着できる。今回の映画の現場でこれまでの、CM、ミュージックビデオ、連続ドラマでの経験が非常に役に立ちました。人生に無駄はありません。

信じて、とことんやる、これが大切です。僕はそう信じています。

○ **仕事の“やりがいを感じる瞬間”**

監督の仕事は「指示を出すこと」です。同時にキャスト、スタッフを信じることです。自分の目指すイメージを仲間と共に「表現」できた瞬間は最高です。HiGH&LOW でいえば、無名街の大爆破がまさしくそうでした。火薬をMAXに使った大爆破の中を、見事に走り抜けた岩田剛典さんとの固い握手が忘れられません。300人のスタッフの拍手が今でも心に響いています。

監督は、「生きていることを実感できる瞬間」に何度も出会える職業です。

みなさんも是非、そんなかけがえない瞬間を一緒に味わいませんか? AX-ONでお待ちしています。

入社して10年、これまで主に人を密着取材する仕事をしてきました。映画の撮影現場で出演者やスタッフの方々に密着するメイキングから始まり、今は著名人や文化人と海外を巡る「アナザースカイ」という番組に所属されて3年ほどになります。

現在の番組では、まずゲストの方と打ち合わせをして「どこの国に行くか、なぜそこなのか」ということを決めます。そこで話した内容に基づいて構成作家の方々と台本を作り、実際に海外にゲストと同行し、話を引き出しながら撮影をします。帰国したら撮ってきたものを編集して、スタジオ収録をし、放送の形にする、というのが僕

の仕事の主な流れです。

よく「海外に行けて羨ましい」とか「色々な人に会えていいな」と言われるのですが、なんか、ほんと、その通りですみません。心からへべろです。楽しんで仕事させていただいています。でも放送内容的にはゲストの方の魅力を確実に届けなければならないので、構成作業が大変な番組だと思っています。散々ダメ出しを食らったこともあります。周りのスタッフにもたくさん迷惑をかけてきました。せっかく出演してくださったゲストの方に申し訳ない気持ちになったこともあります。今でも制作過程で悩むことばかりです。

出逢いが、人生を豊かにする。  
人の魅力に触れるたびに、そう思います。

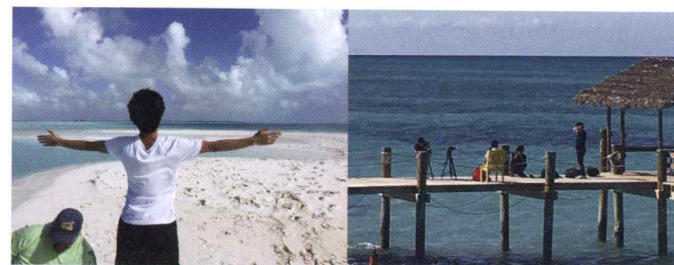
それなのにやらせてもらっているのは、先輩方が世話を焼いてくれたおかげです。AX-ONには、そんな心優しいスタッフがたくさんいます。編集でどうしても面白く作れなかった時、膝を突き合わせてずっとノウハウを教えてくださいました。辛くて投げ出したくなった時、親身になって話を聞いてくれました。だからこそ、これからは僕も後輩たちにそうできるよう努力していきたいと考えています。「この仕事に興味はあるけれど、自分にできるかわからない」「大変そう」。そんな風に考えてチャンスを逃そうとしている方がいたら、是非AX-ONに来てください。大丈夫、僕だってなんとか(?)できているんですから。

■ **高柳 健太郎**

制作センター 制作2部 / 業界歴: 10年

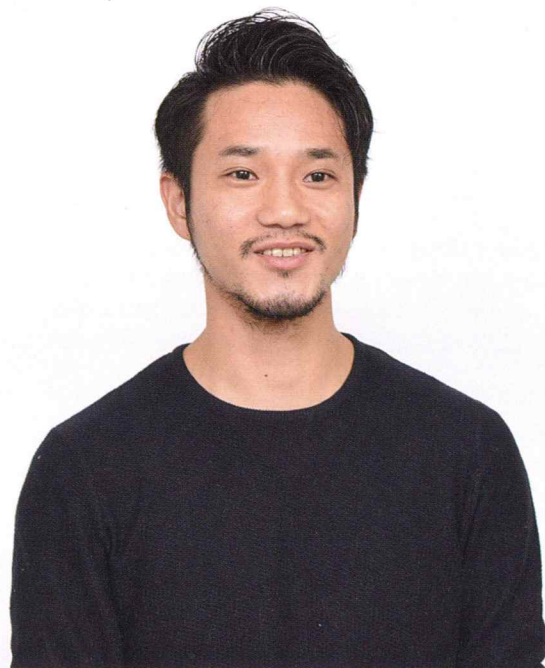
● **主な活動歴**

- 「アナザースカイ」「WOWOW 生中継!アカデミー賞授賞式」
- 「東京暇人」ディレクター
- 映画「脳男」「ツナグ」「桐島、部活やめるってよ」「カイジ2」
- 「書道ガールズ」メイキングディレクター



○ **仕事の“やりがいを感じる瞬間”**

やりがいを感じるのは、人の魅力を伝えられた時。番組を作る上でのゲストの方との打ち合わせ、撮影、編集、それら一連の過程の中で毎回その方の魅力に気付かされます。「知らなかったけれど、この人はこういう考え方をするんだ。こんな実績を残してきたんだ。今後の夢はこうなんだ。」気付いたらその方のファンのようになっている自分がいます。その気持ちが放送という形になって視聴者に届いた時、この仕事をやってよかったと感じます。





まれた訳はただ単純に僕が芸能人と結婚したかったから(笑)。どこで芸能人と出会やすいのか、どんな人が芸能人にとって好かれるのかを調べていたところ、ある先輩から「それ、番組にしたら面白いんじゃない?」という言葉ももらい、見事採択されました。企画が通ってからOAまでは怒涛の日々。でも本当に楽しくて今でもあの日のことは鮮明に覚えています。中でも嬉しかったのが自分の希望したMCの方々がこの仕事を引き受けてくれたこと。名倉潤さんと松嶋尚美さんにはあまりに嬉しくて収録終わりに記念写真まで撮ってもらいました(笑)。ちなみに僕自身は芸能人とは結婚

## 毎日が学園祭!自分の考えた企画が番組に。 そのキッカケは…芸能人と結婚したかったから!

しませんでした。AX-ON内で素敵な奥様を見つけることができました。

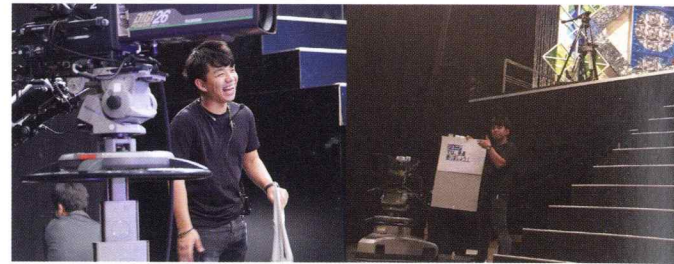
“自分の企画した番組を作る”これには中毒性があります。運よく2年目でこの中毒を味わった僕は、今でも企画を考えて提出し、自分の番組が制作できるように頑張っています。昨年には初めて自分の番組が全国放送され、実家の家族も大喜びしていました。

AX-ONには、いい意味で“学生ノリ”の先輩方がたくさんいます!収録・OAまで猪突猛進。どうやったら視聴者に楽しんでもらえるのか、ギリギリまで必死に考える、そして本番を迎える…なんか学園祭に似ていませんか?ただ一点だけ違う点は、これでお給料がもらえるということ。面白いことを考えて稼げるって、こんな幸せな仕事は他にはないと思いま

現在は、お昼の情報番組「ヒルナンデス!」を担当しながら、数々の特番にも携わっています。さらに、自分の考えた企画で番組を演出することもしばしば。本当に貴重な体験ばかりの毎日です。

僕は、番組制作の現場でいるとよく高校や大学時代の“学園祭”を思い出します。

自分の企画が初めて通ったのは入社2年目の冬。一番仲のいい同期と共に“今年中に必ず番組企画書を通す”と1か月に5本以上提出し、ようやく実現しました。番組名は「芸能人と結婚する方法」。文字通り、芸能人と結婚するための方法を学ぶというバラエティ番組でした。実は、この企画が生



### ■ 本田 拓也 制作センター 制作3部 / 業界歴:5年

#### ● 主な活動歴

- 「ヒルナンデス!」ディレクター
- 「オトせ!」ディレクター
- 「ライバルからの招待状」企画・演出
- 「鬼問」企画・演出
- 「広島満喫!!かき脂ツアー」企画・演出
- 「芸能人と結婚する方法」企画・演出
- YouTube番組「しゃち大学」演出

第32回「ATP賞テレビグランプリ」優秀新人賞受賞

感動的なドラマの脚本を書く才能や、面白いバラエティ番組を創造する能力があるわけでもない。そんなごく平凡な私がテレビ業界で天職と思えたのが「報道」や「ドキュメンタリー」という分野でした。自分が唯一できるのはひたすら人の話を聞くこと。「なぜ?」「どうして?」「真実を知りたいその一心が、取材やドキュメンタリーを作る上で最も大事なことでと気付いたのです。

「報道」とは国民の知る権利の為にあるものですが、大きく2つに分けることができます。1つは「発表報道」。これは官庁や企業などが自ら会見やプレスリリースなどで発表する情報を報じるスタイルです。「警察によると〜」「政府によれば〜」など、視聴者が見る報道の大半がこの形です。それに対して「調査報道」があります。これは、その時に取材・報道しなければ歴史の波間に埋もれてしまう事実を独自に掘り起こして真実に迫っていくというスタイルです。大きく世論が動いて時の権力者が辞

任したり、法律が変わるきっかけになったりと、世界では「調査報道こそがジャーナリズムの本務」と言われています。現在私は「調査報道」を軸としたドキュメンタリー番組を作っています。

しかし若手がいきなり調査報道はできません。20代で初めて撮ったドキュメンタリーは犬や猫の殺処分の話でした。飼い主の都合で捨てられた罪なきペットたちが一体どんな末路を迎えるのかを記録したものです。放送後「知らなかった」など多くの感想が寄せられ、世の中で知られていない事実を自分の取材によって多くの人に伝えるという仕事のやりがいを実感しました。

東日本大震災では、津波によって瓦礫だらけになった町で最初に店を再開した花屋に密着したドキュメンタリーを撮りました。訪れる客は皆大切な人を亡くした人たち。口々に「せめて手向ける花を…」と買って行くのです。人は住む場所を失い、食べ物も着る物も無い中で、最初に花を求めたの

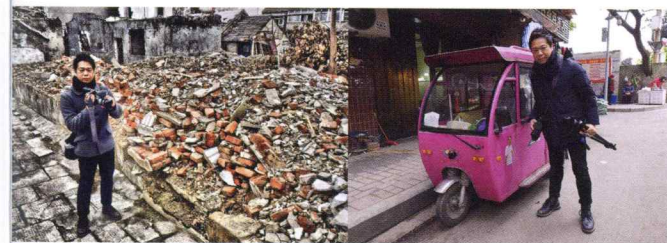
## 「小さな声に耳を傾ける 大きな声には疑問を持って」 それがドキュメンタリーや調査報道の原点です。

### ■ 境 一敬 ニュース・ライブセンター ニュース部 / 業界歴:16年

#### ● 主な活動歴

- 「NNNDキュメント」ディレクター
- 「南京事件 兵士たちの遺言」
- 「希望と翻弄の狭間で 基地の島 沖縄で暮らす」
- 「命の砂時計 ママの“がん” どう伝える」
- 「死刑執行は正しかったのか 飯塚事件 切りとられた証拠」
- 「戦争のはじまり 重慶爆撃は何を招いたか」
- 「手向ける花を届けたい 瓦礫の中の生花店」

第53回「ギャラクシー賞」優秀賞受賞 / 第55回「ギャラクシー賞」奨励賞受賞  
平成28年「日本民間放送連盟賞」優秀賞受賞  
第16回「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」公共奉仕部門 大賞受賞  
第21回「平和・協同ジャーナリスト基金賞」受賞  
第15回「放送人の会 放送人グランプリ」準グランプリ受賞  
2015年「NNN年間最優秀賞」受賞  
2015年「メディアアンプビュース大賞」受賞  
平成19年度「ヤング映像クリエイターを励ます賞」受賞



です。計画停電や原発に関する政府会見を報じることも大切ですが、被災者一人一人に寄り添い、その小さな声を丁寧に拾って伝えることもまたメディアの役割なのです。

2017年に放送した『戦争のはじまり 重慶爆撃は何を招いたか』は、シンプルな疑問から取材がスタートしました。戦争において多くの日本人は自分たちが原爆など無差別爆撃の最大の被害国だと認識しています。しかしそもそも太平洋戦争はなぜ始まったのか?それは真珠湾攻撃から。ではなぜアメリカを攻撃したのか?経済制裁などの圧力を受けて追い込まれたから。そこまでは教科書にもあり誰でも答えられます。しかし、制裁を受けるに至った経緯には、日本が世界に先駆けて中国で無差別爆撃を繰り返していたという、ほとんど知られていない事実があったのです。物事には結果がある以上その原因がある。私は防衛省に通い詰めて日本軍の戦闘記録を1年以上かけて調査・分析。現地中国でも取材し1時間のドキュメンタリーにまとめました。

「知らないこと」はとても怖いことですが、無知は仕方ないことです。ただ「知ろうとしないこと」は罪深いことなのだと思います。情報過多になりフェイクニュースも溢れる今だからこそ、調査報道の役割は大きいのです。

#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

国や自治体が発する大きな声は黙っていても報じられます。一方で世の中には生きづらさを感じていても声に出せない社会的弱者がたくさんいます。彼らの小さな声は国家や世間へは届きません。ならばそのブリッジとなるのが報道です。だから私は誰も行かない現場に向かい「小さな声に耳を傾ける」ところから取材をスタートさせます。これまで「事件で大切な人を亡くした遺族」、「余命わずかの若い母親」、「引きこもりの青年」、「行方不明の我が子を探す両親」…など、多くの人々取材してきました。ドキュメンタリーは取材に長い年月をかけます。そうした中で、人々が何かに思い悩み、それを乗り越える瞬間にカメラは寄り添ってきました。私はその瞬間がたまらなく好きなのです。

私がAX-ONに入った理由は、夢である「日韓の架け橋になること」を実現するためです。

現在、エンタメ情報番組「PON!」でディレクターをしています。主に、K-POPや韓国の俳優を紹介するコーナーを担当しています。取り上げたいスターをリサーチし、演出の方と相談し、Goサインが出たら、韓国スターの元へ行きインタビューを行い、編集をして放送します。今やっている仕事は、私が夢としていた「日韓の架け橋」につながっており、今は使命感を持って仕事に取り組んでいます。

最初から夢に近づく仕事をしていただけではありません。最初配属された「スッキリ」では、日本を含め世界各国で

起きている事件事故の情報集めに追われる日々を送っていました。ディレクターとしてPON!に来た時には、全く興味がなかったネタを担当し正直しんどい日もたくさんありました。しかし、今思えば、辛い時だからこそ楽しかったし、得たものは大きかったと思います。AD時代に手に入れた情報を集める能力は、ネタをリサーチする時や仕込む時にその力を発揮します。特番では2回海外に行かせてもらい、海外ロケのことを学びました。PON!で担当していたネタを通して、ファン目線で紹介することが何より効果的であること、ロケで芸能人をコントロールするやり方を学びました。

## いつまでも夢のようなことを言えるのは 夢を実現させる仕事をしているから。



### ■ 金 秀智

ニュース・ライブセンター ライブ部 / 業界歴:5年

#### ● 主な活動歴

- 「スッキリ」AD、ディレクター
- 「スッキリ×ディズニーライブ」ディレクター
- 「PON!」ディレクター

私はこれからも仕事で経験したものを自分のものにして、「日韓番組共同制作」を実現します!時間はかかるとは思いますが、不可能な話ではありません。AX-ONには各分野で活躍しているたくさんの先輩がいて、私を成長させてくれるたくさんの機会があり、何より夢をサポートしてくれる多くの方がいます。

華やかで楽しい業界ではありますが、そのぶん挫折する数も数え切れない多さです。その瞬間を耐えて耐えて華やかで楽しい瞬間を楽しんでほしいです!!

AX-ONで皆さんも夢を夢で終わらせるのではなく、実現してほしいです!



#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

取材先の人から、視聴者から「ありがとう」と言われた瞬間です。とんでもないやりがいを感じます。視聴者からは「○○についてわかりやすかった!好きになった!」や「○○くんの魅力が全部伝わっていた!ありがとう!」とツイッターや視聴者投稿BOXにメッセージが届いたり、取材先の人から「愛が伝わるVTRでした。ありがとうございます」と言われると...、徹夜していた日々の疲れが全部吹っ飛ばすほど元気になるます!



「今、○○で事件が起きている!すぐに向かってくれ!!」いつ何時、場所がどこであれ現場に急行し、取材し、いち早くニュースを流す仕事。それが、現在の私の仕事「報道記者」です。

事件や災害などを担当する「日本テレビ社会部」という部署で現場でのインタビュー取材や、時には、ヘリに乗り、災害現場を上空から中継したり、飛ばされそうな雨風の中、台風中継したりと、そんな報道現場の最前線で取材活動をする毎日を送っています。

「向かってくれ!!」

「今、シャンプーしてますから無理です!」

### ■ 岸 克哉

ニュース・ライブセンター ニュース部  
業界歴:5年

#### ● 主な活動歴

- 真相報道「バンキシャ!」AD
- 日本テレビ 報道局 社会部記者

そんなことはとても言えない、そんなところです。(笑)

みなさんの報道のイメージは、「かたい」「むずかしい」というものが多いでしょうが、入社以来、約5年、報道畑で育った私に言えることは、「まったくその通りです」としか言えないです(笑)報道はむずかしいです。

報道の現場は常にノンフィクション、「現実」です。

殺人事件現場では実際に人が殺されており、災害現場では多くの人が命を落としています。

その中で仕事をするということは人の生死に大きくかわるもので、重い責任があります。

そんな責任がある中、やるべきことは無数にありますが、



## 「大真面目に1つ1つ本気でぶつかれ そうすれば人に何か伝えることができる」

僕が大切にしていることは、大先輩の言葉。

「大真面目に1つ1つ、一切の妥協なしに、本気でぶつかれ。

そうすれば人に何か伝えることができる」という言葉です。

僕たち報道ができることは事実を正確に報道することだけで、大きなことはできません。

しかし、真面目に「本気」で、事件、災害の真実を追い求め、取材し報道することで見た人が何かを感じ、行動する。その結果、人が救われたり、この社会がもっといいものになると信じて僕はやっています。

「本気」で何かにつづかっていきたいと思っている人と一緒に仕事ができればうれしいなと思います。

#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

自分が入手した情報が、時には事件を大きく動かすことも。都内で起きた殺人事件。犯人未逮捕の中、数々の取材によって辿り着いた人から警察も知らない犯人と思われる人物の情報を入手。中には潜伏先の情報も。

警察とやりとりした結果、その人物が犯人として逮捕されました!

数々の取材から事件の核心となる情報を導き出し、自分が入手した情報が、事件解決の一端となるのも記者仕事のやりがいのひとつです。

テレビ番組制作

《バラエティ》

ヒルナンデス!  
ヨルナンデス!(ヒルナンデススペシャル)  
有吉ゼミ  
世界まる見え!テレビ特捜部  
火曜サブライズ  
今夜くらべてみました  
得する人損する人  
ぐるぐるナインティナイン  
超問クイズ! 真実か? ウソか?  
another sky  
満天☆青空レストラン  
世界一受けたい授業  
嵐にしやがれ  
ニノさん  
欽ちゃん&香取慎吾の全日本仮装大賞  
のどまんTHEワールド!  
エンタの神様  
歌唱王  
頭脳王  
絵に描いたような、アレ

《音楽》

読響シンフォニックライブ  
クラシック倶楽部(NHK BSプレミアム)  
ディズニー・オン・クラシック(Dlife)

《情報》

ZIP!  
スッキリ  
PON!  
ズームイン!!サタデー  
ぶらり途中下車の旅  
情報ライブ ミヤネ屋  
東京職人  
リアル×ワールド  
日テレアップDate!  
SENSORS  
Hulu傑作シアター

《ニュース》

news every.  
NEWS ZERO  
真相報道バンキシャ!  
Oha!4 NEWS LIVE  
皇室日記  
NNNドキュメント  
日テレNEWS24  
深層NEWS(BS日テレ)  
櫻井翔×池上彰 教科書で学べない災害  
4時もシブ5時/ニュース シブ5時(NHK総合)

《ドラマ》

連続ドラマ

「トドメの接吻」「奥様は、取扱注意」「今からあなたを脅迫します」  
「ウチの夫は仕事ができない」「愛してたって、秘密はある。」「東京タラレバ娘」  
「スーパーサラリーマン左江内氏」「THE LAST COP」「レンタル救世主」  
「ゆとりですがなにか」「家売るオンナ」「時をかける少女」  
「そして誰もいなくなった」「ヒガンバナ〜警視庁捜査七課〜」  
「掟上今日子の備忘録」「花咲舞が黙ってない」「デスノート」「ど根性ガエル」  
「ワイルド・ヒーローズ」「学校のカイダン」「ST赤と白の捜査ファイル」  
「弱くても勝てます〜青志先生とへっぽこ高校球児の野望〜」  
「明日、ママがいない」

スペシャルドラマ

「ゆとりですがなにか純米吟醸純情編」「帰ってきた家売るオンナ」  
「ガードセンター24 広域警備指令室」「永遠のぼくらsea side blue」  
「ヒガンバナ〜女たちの犯罪ファイル〜」「ST〜警視庁科学捜査班〜」  
「磁石男」「チーフ・フライト」「奇跡の教室〜その時、仏が舞い降りた!〜」

深夜ドラマ

「孤食ロボット」「キャバすか学園」「マジすか学園5」「マジすか学園4」  
「MARS」「いつかティファニーで朝食を」「平成舞祭組男」  
「近キヨリ恋愛〜Season Zero〜」「仮面ティーチャー」「BAD BOYS」  
「私立バカレア高校」

24時間テレビドラマ

「時代をつくった男 阿久悠物語」「盲目のヨシノリ先生」  
「母さん、俺は大丈夫!」「はなちゃんのみそ汁」「今日の日はさようなら」  
「車イスで僕は空を飛ぶ」

YTV

「ブラックリベンジ」

日テレ×Hulu

「漫画みたいじゃない。」

Huluドラマ

「雨が降ると君は優しい」「愛してたって、秘密はある。 huluスピンオフドラマ」  
「地味にスゴイ! hulu スピンオフドラマ」[hulu ラストコップ another story]

NHK総合

ドラマ10「ブランケット・キャッツ」「デザイナーベイビー」

NHK BS プレミアム

よるドラマ「全力失踪」「奇跡の人」「ラギッド!」「プラトニック」

WOWOW

ドラマW「カッコウの卵は誰のもの」「変身」「分身」  
開局20周年ドラマ倉本聰「學」

WOWOW×Hulu

「コートダジュールN°10」

BSスカパー!

「アカギ2」「アカギ」

BeeTV

「親父の仕事は裏稼業」「GIFT」「世界の終わりに咲く花」

Dlife

「東京ガードセンター」

《スポーツ》

プロ野球中継  
サッカーアース  
アジアチャンピオンズリーグ  
FIFA クラブワールドカップジャパン  
全国高校サッカー選手権大会  
ダイナミックグローブ  
プロレスNOAHスペシャル  
ゴルフ中継  
バレーボールワールドグランドチャンピオンズカップ  
関東インカレ  
陸上ダイヤモンドリーグ  
東京マラソン  
さいたま国際マラソン  
全日本大学女子駅伝  
日光いろは坂女子駅伝大会  
全国高校総体  
箱根駅伝  
NFL倶楽部  
MotoGP  
坂上忍の勝たせてあげたいTV  
パンサーの「競輪、はじめました。」  
武井社のゴルフコロッセオ  
BS日テレ競輪中継  
ツアーオブジャパン  
平昌五輪  
Going! Sports&News  
ストロングポイント  
中居正広のスポーツ5番勝負  
くりいむしちゅーの! THE★レジェンド  
成功の遺伝史

NHK

「リーグ中継」「グッと!スポーツ」「アスリートの魂」「熱血解剖! Bリーグ」

WOWOW

「ラグビーフランスリーグTOP14」  
「ラグビー 欧州最強決定戦シックス・ネーションズ」

TOKYO MX

「高校野球・東西東京大会」「カウントダウンTOKYO 2020」  
「パラアスリート極ワザ」

スカパー!

「リーグ中継」

Jスポーツ

「メジャーリーグ中継」「ドキュメンタリー THE REAL」

BS11

「女子ソフトボール中継」

DAZN

「ヴェルディ戦中継」

《ミニ番組》

「nextクリエイターズ」「The Gift」「和び旅」「キューピー3分クッキング」  
「心に刻む風景」「音のソノリティ」「夢の通り道」「ワーズハウスへようこそ」  
「輝きYELL!」「biz search」「ゆっくり私時間」「元気のアプリ」「岩さん、たもつ」  
「太陽からのおくりもの〜輝く笑顔を求めて〜」「COUNTDOWN Hulu」  
「POWERアレーズ」「憧れの名店〜夢と音の多重奏〜」(BSジャパン)

《映画番組関連》

金曜ロードSHOW!/WOWOWアカデミー賞授賞式/日本アカデミー賞/映画天国

《通販番組》

日テレポシュレ/女神のマルシェ/買キング

《その他》

24時間テレビ愛は地球を救う  
奇跡の美術館エミタージュ〜2枚のダ・ヴィンチと巨匠が遺した暗号(メッセージ)  
オルセー美術館展特別番組 東出昌大Presents 画家たちの声が聞こえる  
Welcome To The Railworld Japan

NHK総合

NHK震災特番「花は咲くスペシャル」/こころフォトスペシャル  
夢を信じるカシちゃん和梅津トレーナーの5年/うまいッ!  
あさイチ〜スゴ技Q〜

テレビ番組制作

NHK Eテレ

オリガミの魔女と博士の四角い部屋

ミヤギテレビ

世界に輝く! 東北遺産の旅  
Honda Cars presents 東北ハイブリッド スイーツ工場  
アツアツ! フーフー! 鍋ストーリー

福島中央テレビ

キズナワーク

静岡第一テレビ

まさか!?のニッポン献上品

中京テレビ

百問!ザ・ワールド〜世界100カ国健康インタビュー〜

CBC

極東で生きる人たち 追え!海のユニコーン

日本海テレビ

カニトレラー-日本各地へ「ありがとう」を届ける旅!

福岡放送

博多華丸・大吉の 愛されるヒミツ! 老舗の裏ワザ

NHK BS1

あきらめない二人〜激闘しずちゃん密着1000日〜

NHK WORLD

imagine-nation

BS日テレ

歌え! 昭和のベストテン/夫婦再旅/芸能人対抗! 家族のキズナ歌合戦  
それいけ! アンパンマンくらぶ /おはよう! アンパンマン  
徳光和夫のトクセンお宝映像!  
エルビス・マイケルをしてビートルズ〜湯川れい子語る交流秘話〜  
10の休日/笑点特大号/本日開講 みんなで考える! エネルギーの未来  
木曜スペシャル「皇后美智子さま 80歳 心の軌跡」  
木曜スペシャル「両陛下ご結婚55周年 皇后さまと歩まれた絆の旅路」  
心の絆! 三世代家族スペシャル〜じいじとばあばとパパとママ〜  
心の絆! 旅立ちスペシャル〜エール! 輝く君の明日のために〜  
池上彰が見た! ロシアの真実〜ソ連邦崩壊から25年  
三宅祐司のふるさと探訪/明日言いたくなる話  
食浪漫紀行 オリーブオイル/THE 歌謡祭 2016  
リーダーズメッセージ/霞が関からお知らせします/クイズ! 神社仏閣  
秩父夜祭2017/大人のたしなみズム/なべちゃん邦ちゃんのお遍路ちゃん  
エネルギー調査隊/MY STORY

BSジャパン

夜汽車紀行〜大杉蓮が行く酒と涙のノスタルジック旅情〜  
明日への目覚め〜患者安全のエキスパート麻酔科医

BSフジ

原宿ブックカフェ

BS11

関根勲KADENの深い夜

WOWOW

ノンフィクションW「日本のアクションを変える男 谷垣健治」 他  
「黒澤明の美味しいご飯」  
「フィルムの画家・黒澤明〜スクリーンがキャンパス〜」

BS TwellV

見て安心! 相続Q&A!

BSスカパー!

らくらくゴーゴー!

BSアニマックス

びっかびかサマー

Dlife

セカイマ!

CS日テレ

2.5次元ナビ!

ディスカバリーチャンネル

巨大地震を早期検知新幹線の奇跡

チャンネルNECO

発信! 情報スポットG

MONDO TV

MONDO式麻雀

旅チャンネル

平成酒どころめぐり

キッズステーション

ゴーゴー!のりものタウン

サイエンス チャンネル

THE MAKING

AXNミステリー

早川書房ブックリエ  
ひとりが世界のナゼを教えてくださいました?

WAKU WAKU JAPAN

QUIZ! SURPRISE JAPAN  
Waku Waku Kids  
(海外放送コンテンツ:インドネシア・シンガポール・ミャンマーにて放送)

劇場映画制作

「HIGH&LOW FINAL MISSION」  
「HIGH&LOW END OF SKY」  
「LAST COP THE MOVIE」  
「HIGH & LOW THE RED RAIN」  
「アズミ・ハルコは行方不明」  
「MARS」  
「ST赤と白の捜査ファイル」  
「近キヨリ恋愛」  
「仮面ティーチャー」  
「BAD BOYS」  
「私立バカレア高校」  
「怪物くん」  
「桐島、部活やめるってよ」  
「カイジ 人生逆転ゲーム」  
「カイジ2 人生奪回ゲーム」  
沖縄国際映画祭 「お前はまだガンマを知らない」  
「NMB48 げいにん! THE MOVIE リターンズ」  
「NMB48 げいにん! THE MOVIE」  
「ヒノマル♪ドリーム」 「幸運の壺」

VFX

映画「ガッチャマン」「HERO」「カイジ」「カイジ2」

CM制作

つきじ喜代村(すしざんまい)  
木下工務店  
金冠堂(キンカン)  
講談社  
THEグローバル社(広告代理業務も含む)  
TOYOTA ラクティス×SEKAI NO OWARI篇  
TOYOTA×グスの極み乙女。CM SPADE篇/Porte篇  
AiDEM  
横浜市(広告代理業務も含む)  
HUNTER×HUNTERカードゲーム  
LIXIL(リクシル)  
タイ国内向け「伊勢丹デパートCM」  
木下グループ木下の介護CM  
タイエイCM

ミュージックビデオ

RIP SLYME CHIIHIRO 湘南乃風 私立恵比寿中学 AK-69  
タッキー&翼 DOBERMAN INFINITY

企業VP

ティアップネス 代々木ゼミナール 大東建託 三井住友銀行 メットライフ生命  
三菱マテリアル コクヨ ネットワンシステムズ 三井物産 オリジナル  
創価大学 読売新聞社 サントリー 健康家族(にんにく卵黄)他

広告代理店業務

つきじ喜代村 Zoff サニーライフ 横浜市 鳥取県

デジタルサイネージ

ダイバーシティ東京「アミューズメント・ウォール」  
JR東日本「トレインチャンネル」他

3D制作

宮里美香のFUN FUNゴルフ・ミカデミー(ひかりTV)  
3D THE絶叫アイドル!!(スカパー!)  
ニンテンドー3DS 「ぶらり鉄ビュ〜3D」「マジック3D」「動物占い3D」  
「日テレジェニック3D」3D JALボーイング787」  
「東北六魂祭り3D」

4K8K制作

岡三証券 神楽洞夢4K全天周映像(ドーム4K映像制作)  
福井市駅前セーレドーム 星々の約束  
ひかりTV 「WBSCプレミア12ジャパン強化試合」  
「2017ゴルフTカップ」「プロレス・ノアSP」  
「江ノ島散歩」「五感で旅する世界の美術館」  
「特宝〜ウルトラマン放送50年のお宝大集合〜」  
「2016体操全日本団体選手権」  
「2016体操全日本種目別選手権」  
「【HDR】2016ゴルフリコーカップ」  
「2017ゴルフサロンバスカップ」

VR制作

第34回 サントリー1万人の第九 360度動画制作  
VRコンテンツ「ゴースト刑事 日照荘殺人事件」  
VRコンテンツ「360Channel 胸キュン♥バス」

その他コンテンツ制作

政府インターネットテレビ 内閣府 防衛省 総務省 外務省 文部科学省  
警視庁 警察庁 消費庁 国税庁 東京都 鳥取市  
JST(科学技術振興機構) 横浜市 名古屋大学  
東京スカイツリーショートフィルムフェスティバル出品「ソラノネ」  
放送コンテンツ海外展開モデル事業(総務省)マレーシア・フィリピン  
C CHANNEL動画コンテンツ Yahoo!ライフマガジンコンテンツ  
LINE LIVECAST「Tastemade クッキング TasteLive」  
WEB配信「テレビノムコウ」  
タテ型動画アプリ Th: rtyコンテンツ「ぼんだび日記」  
LINEコンテンツ「ワンチャンワンドキ!」



2002年日本中が熱狂した日韓W杯。生で感じた感動を伝える仕事したい、その思いでAX-ONに入社。

スポーツニュースのAD、サッカー担当ディレクターを経て、現在はサッカーを中心にスポーツ中継のディレクターを務めています。

スポーツ中継では各カメラが撮影する映像を中継車でスイッチングし、放送を作っています。他局の中継ではスイッチャーと呼ばれる専門家が映像の切り替えをしますが、日本テレビでは制作の意図をダイレクトに反映し臨場感を出すためにディレクターが自らスイッチングします。

## 「一体感」で歴史的瞬間を伝える！

ラキューを出さなくてもカメラマンが撮ってくれる、その動きに合わせて別のカメラが次の画を、また別のカメラが次の画を…と頭の中とカメラの画がどんどんつながって一つの線で結ばれるような、そんな感覚で表現したかったことが実現できることがあります。学生時代の文化祭ではないですが、大勢のスタッフの意思が一つになって、一緒になって作りあげると言う「一体感」。中継をやっている最高に楽しいと思える瞬間です(カメラマンから厳しいダメ出しや指摘を受けることの方が圧倒的に多いのですが…)。

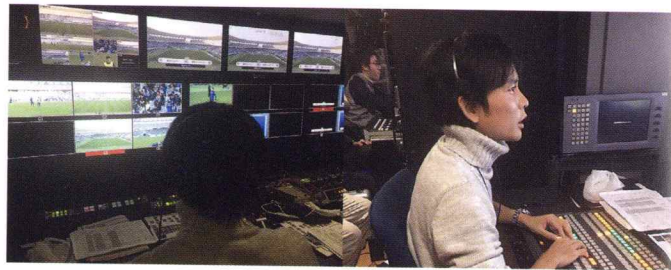
学生の皆さんも文化祭などで全員が一つになった経験があると思います。この職場は毎日が文化祭!「一体感」で歴史的瞬間と一緒に作りましょう!



大規模の中継になれば20台を超えるカメラを動かしながらベストの映像を作っていきます。

中継はその一瞬一瞬が勝負。その一瞬を撮り逃すともう二度と撮ることができません。何が起るかわからない中でその一瞬をどう撮るか、さらに中継全体を通じてどんなドラマを伝えるか、試合の展開に合わせて全体の構成も考えながら常に頭をフル回転させて挑んでいます。

事前にカメラマンと入念に打ち合わせして試合の見所やどう見せたいかを共有するのですが、イメージがしっかり共有できていると、「あの画が欲しい」と思った時にカメ



### ■ 伊村 幸多朗

スポーツセンター スポーツ1部 / 業界歴:8年

#### ● 主な活動歴

- サッカー中継、ゴルフ中継ほか、スポーツ中継ディレクター
- 「サッカーアース」「クラブW杯」「高校サッカー」ディレクター
- ブラジルW杯日本代表担当ディレクター

#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

スポーツ中継の醍醐味は歴史的な瞬間に立ち会えること。14年ブラジルW杯では日本代表担当として現地で取材しましたが、本田ゴールの狂喜乱舞、スタジアムの空気を一瞬で変えるハメスロドリゲスの左足、長友の涙…その瞬間に立ち会った経験は、普段は絶対に味わえないことだと思います。

今は来る2020年東京五輪で日本人選手が金メダルを手にするその瞬間を中継することを目標に日々精進しています。その瞬間と一緒に作り上げてくれる学生の皆さんを待っています!

現在私は日本テレビスポーツ局で「体操・新体操・トランポリン・バドミントン・ソフトボール・パラリンピック・スピードスケート・スキージャンプ・ショートトラック・ノルディック複合」という最多の10競技を担当しています。

え、多すぎじゃない(笑)?と言われますが、知らない競技や選手を発掘するのは楽しいです。普通じゃ考えられない経験をさせてもらえることは、この仕事の魅力だと思います。また私が働く部署の人たちは、スポーツ愛のある熱い人ばかりで、良いものを作ることに力は惜しみません。映像の選択、原稿の表現、もちろんミスがないかの確認も

含め、OAギリギリまでこだわります。

「インパクトを与える映像のファーストカットは何がいいか?」「スポーツファンじゃない人にもどうやって見られるか?」「ここにカメラを置いて撮影するとどんな映像が撮れるのか」など、探求心は尽きません。

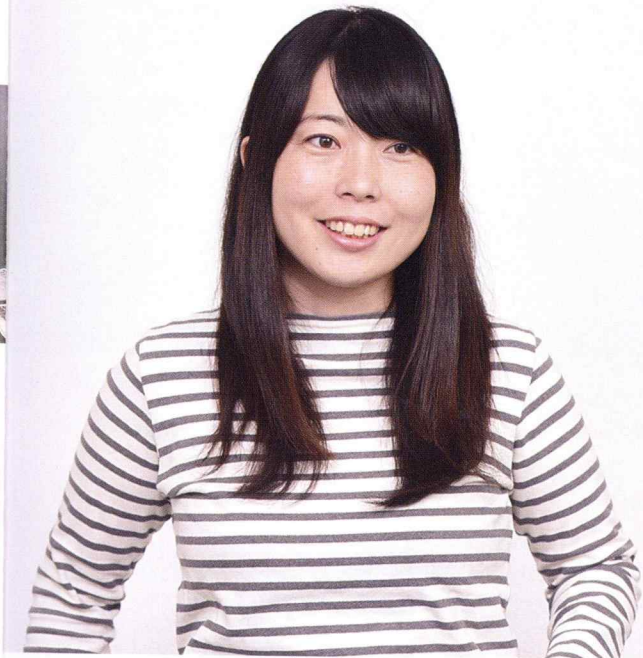
以前は男性と対等に仕事したい、早く認められたい!と思っていましたが、今は女性だからこそその目線や気付けること大切にしながら仕事をしています。その中でも「私にしかできないこと」って何だろうというのは仕事をする上で永遠のテーマです。私の場合は自分の家族が大好きな

### ■ 久本 瞳

スポーツセンター スポーツ2部 / 業界歴:8年

#### ● 主な活動歴

- 「NEWS ZERO」「Going! Sports&News」ディレクター
- NHK BS1「古田敦也のスポーツトライアングル」企画・ディレクター



## “どん欲”であり続けること。“金メダル級”の探究心を武器に「私しかできないこと」を追い続ける。

ので企画書も“家族もの”が多いような気がします。入社2年目で初めて企画書が通った番組も、NHK BS1の「パラアスリートの谷(旧姓:佐藤)真海選手企画」でした。技術的な凄さだけでなく、選手を支える家族も取材しました。谷選手と出会って4年後、現在は結婚・出産を経てママアスリートとして子育てと両立しながら競技に取り組まれています。

これまでとはまた違った目線で、その選手を追い続けられることができることもスポーツならではの魅力です。

追い続けることでまた新たに「私にしかできないこと」が見えてきます。これから先も探求心は忘れずに仕事をしたいです。

#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

選手から「久本さん!」と名前を呼ばれた時です。アスリートに限らずですが、数多くの人と接している中で、自分のことを覚えてもらうというのは飛び跳ねるほど嬉しいです。そこで自己満足になってはいけませんが、名前を覚えてもらうことは良い取材&良い企画を作る上での近道になるかもしれません。

「どんな映像を作っているんですか?」と聞かれることがよくあります。

この質問をされた時が一番困ってしまいます。CMに始まり、ミュージックビデオ、企業用PR、ドキュメンタリー番組、ライブDVD、メイキング映像、ミニ番組などなど...多岐にわたっており、いまいち“この映像作ってます”というのが言いにくいのです。CMやミュージックビデオ、企業用PRなどにしても自分の企画提案次第でドラマや、ドキュメンタリー、インタビューだったりとさまざまに変化していきます。しかも、同じテーマで同じ出演者であったとしても10人の違う人が作れば10通りの映像になっていくのが、この仕事の一番の魅力であり難しさであると思います。

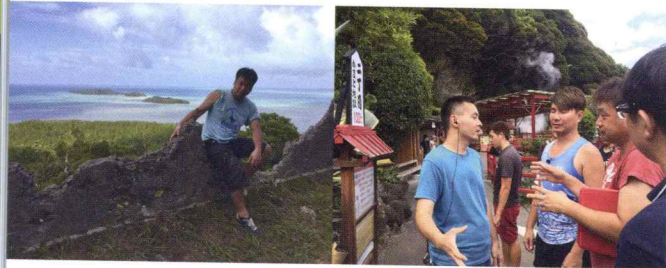
## 同じ映像でも10人いれば10通りの表現がある。 そこが難しくもあり、楽しさでもある...

### ■ 岩崎 臣男

映像事業センター 映像事業1部 / 業界歴:15年

#### ● 主な活動歴

- 「CYNHN・FINAL Legend ミュージカルビデオ」プロデューサー・演出
- 「CHIHIRO・About LOVE/Tonight ミュージックビデオ」プロデューサー・演出
- 「SHE'S・leave me/Long Goodbye ミュージックビデオ」プロデューサー・演出
- 「PLUE・kotoba ミュージックビデオ」プロデューサー・演出
- 「ゆれる・ニビイロノケムリ/アフターハイスクール ミュージックビデオ」プロデューサー・演出
- 「vapビデオの日CM」企画・演出
- 「エミレーツ航空・特別CM」企画・演出
- 「マンシングウェアCM」企画・演出
- マレーシア8TV×日本テレビ共同制作番組「HoChak! in Japan」日本側演出
- 「藤井フミヤLIVE in 日光東照宮」プロデューサー
- 「神楽洞夢上映像・バラオ編」企画・演出
- 「日テレナタリウム・コンセプトムービー」演出
- 「EGO-WRAPPIN' 20周年特別番組」プロデューサー・演出
- 「あゝ荒野 BS日テレミニ番組」ディレクター
- 「スキリ・ヒルナンデス・シューイチ番組内CM」ディレクター



#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

やりがいを感じる瞬間というのは、やはり“見てもらう相手が満足した時”です。僕が関わる仕事は視聴率などといった具体的な数字で評価するものが一切なく、クライアントさんと直接やりとりをする機会が多いです。

新しいことをやってみる時は特にそうですが、どんな映像を作る時も“これでよかったのか?”という不安は付きものです。それを払拭するべく毎回全力を注いでやっていますが、「また今回もぜひお願いしたいです!」と、私の仕事を気に入っていただき、また新たな仕事をもらえる時が、心の底から“やりがい”を感じる瞬間です。

みなさんとAX-ONと一緒に“自分の自由で楽しいこと”を映像化できることを楽しみに待っています。

元々、“CMがやりたい”と思って会社に入ったのですが、当初も今もAX-ONはCMを専門にやっている会社ではありませんでした。なので、CMの仕事もソコソコにいるんな仕事につかせてもらいました。それこそミニ番組や企業用PRなどもジャンルを問わずにたくさんやってきました。そういった経験が、今のさまざまな映像コンテンツを制作する際に非常に役に立っているし、CMの世界以外の面白さを知ることができました。

特に最近やらせてもらったドームシアターでの映像などは、新しいことだらけで手探りで大変でしたが自分の中で大きな挑戦ができました。ドーム型の天井スクリーンに映し出される映像を360度にわたりすべて撮影し

なくてはならないので、カメラレンズを常に上向きで撮影するという未知なる体験でした。どんなカメラで、どんなレンズを使って撮影するかなど、やり方を作り上げるのに数か月かかりました。

そしてミュージックビデオなどもよくやらせてもらうのですが、こういった映像ではアーティストの伝えたいことをイメージ先行でカットとカットの繋がりよりも見ている人へどうしたらインパクトの強い歌のメッセージを伝えられるかを追求したりします。

そういったいろんな映像に携わることで、ドームシアター用の映像を撮る際に用いた技術をミュージックビデオに取り入れようと考えたり、ミュージックビデオのような企業用PR動画を作る提案をしたりと、さまざまなジャンルのものを融合していくことが自分自身の映像のオリジナリティなのかなと思っています。



実は映像制作志望ではありませんでした。

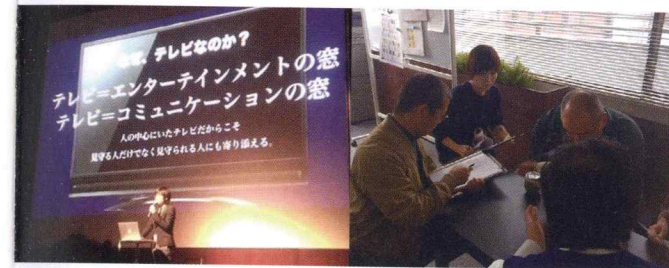
「医療・福祉・教育は人の生活に欠かせないから、新規事業や研究が盛んだし、新しいものがたくさん見られそう。」そんな動機で、福祉分野に近い字幕放送を志望し入社しました。期待通り、音声認識技術やAIに触れながら字幕をつくり、新技術・福祉に関連した企画をポツポツ提出しつつ3年経った頃、日本テレビの新事業に参加することになりました。データ放送を使った防災システムの開発、社団法人の設立、官公庁や自治体への営業を経験し、自分の名刺に付いた初めての役職が「事務局次長」だったりもしました!...

日進月歩の放送技術や国の政策に触れる毎日が楽しく、あっという間に4年が経過。

「次は何をやるか、せっかくAX-ONにいるんだから映像制作もやりたいな」と思っていたら、運よく映像事業センターへの異動が決まりました。前の部署で官公庁との付き合いがあったことを活かし、今は官公庁の広報映像や研修用教材などの制作をプロデューサーとして担当しています。

官公庁の仕事は、企画と見積りの競争から始まります。税金を使うため一切の無駄が許されない中でも魅力あ

## 「AX-ON=映像制作会社」は、ちょっと違う? 自分の使命を探せる会社。



### ■ 中村 遥風

映像事業センター 映像事業1部 / 業界歴:8年

#### ● 主な活動歴

- 2010-2013年: 字幕放送の制作を担当
- 2013-2016年: 放送技術を活用した防災システムの実証事業を担当
- 2017年~: 映像事業センターで官公庁の広報映像などを担当
- 東京都 道徳教材 プロデューサー
- 法務省 録音教材 プロデューサー
- 消費者庁 政策広報映像 プロデューサー



#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

映像事業が扱う分野は無限。道徳のシナリオを書き、海外の料理を作って食べ、CM企画の絵コンテを描き、AIに画像を見せて猫か犬か当てさせたり、毎日飽きません。この仕事じゃなかったら一生かわらなかつた技術や政策に出会い、それを報せる立場になれた時が一番わくわくします。俗な動機で入社しましたが使命感的な何かが生まれてきたのは事実。このわくわくが誰かに伝染したら嬉しいなと思って日々仕事を探しています。

る提案をして仕事を勝ち取るために、作家さんやディレクターさんと企画を練ります。落札後も、予算と演出に合うスタジオや役者を探したり、撮り直しが発生しないよう現場でこまめに確認したりと、納品まで戦いは続きます。

官公庁の仕事は多分野にわたります。高い専門性が求められる分野から企画依頼が無い込んでも、「あ、それ系の仕事やったことあるよ!」と先輩や後輩がノウハウを分けてくれます。事業規模が広くて、社員も多いAX-ONだからこそだなあと有難みを噛みしめる毎日です。

「AX-ON=映像制作会社」というのは、ちょっと違うかもしれません。映像と関係ないところにも結構AX-ONがいます。声の大きさと少しの運で色んな挑戦ができる会社。新しモノ好きの欲張りさん、おすすめです。

日本テレビのインターネット事業局に出向し、データ放送・WEB・SNSなどデジタル全般を使って番組を盛り上げる企画提案やディレクション業務を行っています。

データ放送では、番組と連動した企画を提案しており、スポーツ中継のサッカー日本代表戦では、メンバー表や詳細情報を試合展開に合わせて掲載します。

さらには、親子が楽しめる「ドリブルゲーム」などのプレゼント企画を実施し、リアルタイム視聴を促す施策を行っています。

WEB展開では、スマートフォンを片手にテレビ視聴をして番組を楽しんでいただく企画も検討しています。

例えば、箱根駅伝では選手の位置がわかるマップや最新の状況を動画配信しています。

SNSを使う企画は、PRとして番組の情報や動画を配信したり、番組でメッセージを募集しています。



■ 山本 優樹

コンテンツ事業センター コンテンツ戦略部  
業界歴: 12年

● 主な活動歴

- データ放送AP
- デジタルプロデューサー

テレビ×デジタルの新たなテレビの在り方を  
提案できるのが魅力！

最近では、プロ野球中継で「チーム応援合戦」と題して、視聴者が応援するチームに送ったメッセージを掲載し、チーム別の投稿数に応じて応援量を表示して番組を盛り上げました。

デジタルの世界は日々進化し続けているので、それをキャッチしながら最新のメディアを使った企画を考えたいところが、とても魅力的なところだと思います。

○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

自分たちが考えた企画に視聴者やユーザーが参加し、その企画によって「テレビ視聴を楽しめた」という声を周囲から聞いたりSNSでみたりすると、とてもやりがいを感じます。

テレビとデジタルは、相反する面も確かにありますが、自分たちの企画次第(使い方)によって変えられる可能性があるかと思っています。

大好きな映画にかわりながら、英語を使った仕事をしたい!と学生の頃から思っていました。海外セールスという仕事は、海外の映画を日本に広めるのではなく、逆に日本の映画を世界に発信していける、というのがこの仕事に興味を持ったきっかけです。

現在は日本テレビの映画事業部で海外セールスを担当しています。

カンヌ映画祭やベルリン映画祭では、見本市が併設して開催されており、そこには世界中のバイヤーが上質な作品・ビジネスチャンスを求めてやってきます。私たち海外

セールススタッフもそこに赴き、未公開映像などを見せながら商談を行います。バイヤーの心を掴むことができれば、海外での上映の機会を失ってしまうので、そういう意味でも責任はとても大きいな、と感じますね。原作の実写化であれば現地での出版の有無、同じ監督の過去の海外での実績、キャストの海外での認知度など、数多くある作品の中から選んでもらうためにも、作品に関する情報を事前に調査し、作品の魅力を一つでも多く知ってもらうことが大切だと思っています。

日々の業務は、本編の英語字幕作成、契約書の作成、現

世界中の一人でもたくさんの人に邦画を観てもらい、  
日本を知ってもらいたい!

■ 佐藤 直子

コンテンツ事業センター コンテンツ戦略部  
業界歴: 10年

● 主な活動歴

- 日本テレビ映画事業部・海外セールス

地で映画を公開するときの宣伝に必要な素材の発送、各国版のポスターなどのデザインの監修など、デスク業務が主になりますが、それ以外にも現地で映画が公開される際にはプロモーションのためキャストに同行したりすることがあり、現地配給会社と日本側の調整役としてコーディネーター的な仕事をすることもあります。

最近では「HiGH&LOW」という作品で台湾・韓国でプレミアを行いました。現地のファンが温かく迎えてくれるとそれまでの苦労が報われる気がして本当に嬉しいです。

海外と仕事をしていると、文化の違いや法律の違い、常識が通用しないことがたくさんあり、予想外のトラブルが発生したりしますが、「海外」と名のつく仕事は全部かわれるというくらい幅広く活動できるのがこの仕事の魅力だと思います。



○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

やはり営業なので、作品が評価されて高く売れたり、これまで劇場公開をしたことがない地域への販売が決まった時は素直にとっても嬉しいです。

でもそれよりも何よりもやはり担当した作品が現地で大ヒットしたとき!!このときは現地配給も私もプロジェクトにかかわったみんながハッピーになる瞬間です。たぶん一度この達成感を知ってしまったがために、文句を言いながらもこの仕事を続けているんだろうな、と思います(笑)。





そこで、後世に残しておくべき映像だけを選定し永久保存編集を行ったり、テープで保管している素材は利便性を高めるため、ファイルにデータ化する業務を行っています。

そんなアーカイブの魅力は、何といてもたくさんの映像を見ることができ、映像の付加価値を見出せる専門的知識が身に付くことです。特に、番組側から「〇〇の映像を探している」という相談に対して的確な答えを用意できると、そこにアーカイブの面白さを感じます。我々は“映像のソムリエ”を目指して日々精進しています。

日本テレビのアーカイブは高度にシステム化されています。

## 仕事の成果が目のみ見るのは 100年後かもしれない。でも、そこがいい。

私は現在、日テレアーカイブのさらなる利便性向上のために新たに導入される新システムの運用構築を行ったり、はたまた、その恵まれた環境で得たノウハウを生かして、新規事業獲得のプロジェクトで活動したりしています。

ひたすら映像と向き合う日もあれば、システム用語とにらめっこする日や、営業企画提案書を書いたりする日もあって、本当に飽きない毎日を送っています。さらに、アーカイブは24時間シフト制なので、予定が立てやすく、プライベートの時間も十分確保できます。そのため趣味との両立も可能で、私は週3日も練習のある“よさこい”をもう丸4年も続けられていて、国内・海外遠征も行くことができ、公私ともにとても充実しています。

皆さんはテレビで“過去の振り返り映像”を見たことがありますか？例えば、バラエティ番組に出演したゲストの昔の出演映像や、訃報ニュースでの故人の生前の映像などが当てはまります。テレビを付けると、案外高い確率で過去映像に出くわします。番組を制作する過程で実は必要不可欠な過去映像を必要な場面で二次利用できるよう、日本テレビ開局以来の映像から、昨日放送した映像もすべて管理・運用することがアーカイブ推進部の仕事です。

しかしながら、開局から60年超分の映像は取材したテープを含めるとあまりに量が膨大ですべてを残すことはできません。



### ■ 北尾 悦倫紗

メディア事業センター アーカイブ推進部  
業界歴: 5年

#### ● 主な活動歴

○日本テレビアーカイブセンター担当

#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

アーカイブには毎日たくさんの映像使用申請の依頼がきます。速報が入ると、報道番組のスタッフが「〇〇の映像すぐ出してください！10分後OAです！」と、ものスゴイ勢いで窓口へ飛び込んできます。そこで我々の力量が試されます。一つのミスがOAに穴を空けかねない緊迫した状況で、最善最速のやり方で映像を番組側に引き渡します。その映像が無事に放送された時、いつも喜びと共に鳥肌が立つのです。番組を作っているのは制作スタッフだけではありません。アーカイブ業務も番組のクオリティに直結していると身をもって感じる瞬間です。

入社時から日本テレビの字幕制作を担当しています。字幕付与番組のジャンルはさまざまで、バラエティからドラマ、アニメ、ドキュメンタリー、スポーツ、情報、ニュースと多岐にわたります。いろいろな番組をオンエア前に視聴できるのは、ひとつの特権です。見方を変えれば番組制作に携わりたいという人にとっても、勉強になる場所かもしれません。

字幕制作とは映像を見ながら出演者やナレーションの言葉を聞き取って文字に起こしていく仕事です。さらに字幕は言葉だけでなく、拍手や物音なども文字にして伝えます。ただ丁寧な表記がネタバレにつながることもあるため、

あえて何の物音なのか明確に表記しなかったりセリフの話者名を入れなかったりするケースもあります。このように、視聴者の方が音が聞こえない状況であっても音が聞こえる場合と同様にテレビを楽しむことができるよう、的確な表現や見やすさを考え、視聴者目線で高品質の字幕制作を目指しています。

また字幕以外のことに取り組むこともできます。私は音楽とテレビが好きで、特に『笑ってコラえて!』の吹奏楽の旅が好きだったこともあり多くの人に音楽で楽しんでもらえる仕事がしたくて就職活動をしていました。そんな時に

## テレビを目だけでも楽しめるようにする仕事。 でも番組制作にかかわれるチャンスもある！

### ■ 伊藤 千夏

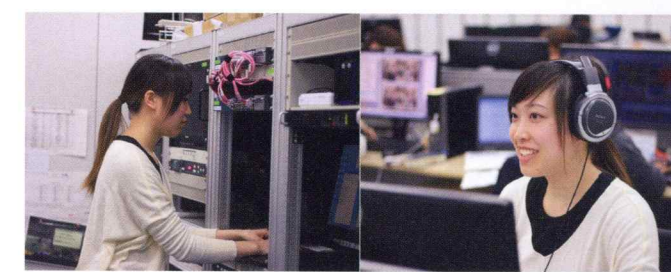
メディア事業センター 字幕・解説放送制作部  
業界歴: 5年

#### ● 主な活動歴

○日本テレビの字幕制作担当



「字幕によりテレビを楽しめる人が増える、誰でも企画提出できるなら私にも音楽番組を作るチャンスがあるなんて面白そう」と思い入社しました。入社後は企画塾に参加し、がむしゃらに企画書を書いていました。いつの間にか年間提出本数が社内2位になっていた時には驚きましたが、声を掛けてくださったり企画書の相談に乗ってくださったりする知り合いが増えました。AX-ONには応援してくれる温かい人がたくさんいますし、周りに目を向ければ刺激なことばかりです。そんな環境にいると今は目の前のことをやり続け、いつかチャンスをつかんでやろうと考えています。夢があり自ら行動できる人、チャンスをつかみたい人にはぴったりな会社です。



#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

字幕を利用している聴覚障がい者の方の声が届いたり、健常者の方でも「便利なので字幕が見えるようにしている」という話を聞いたりすると、見てくださっている方がいるのだと、うれしくなります。今後は早朝や深夜の番組、CM、動画配信サービスでも字幕を目にする場が増えていくはず。今より字幕の認知度が上がり、誰にでも気軽に字幕を見てもらえたらいいと思います。

『インスタ・LINE・YouTube、VR・AR、4K8K…テレビ産業をテクノロジーの観点からどう活性化させるか?』をカタチにするべく日々奔走しているのが、イノベーション事業部です。まだ2017年7月に発足したばかりで、きっかけは3年前に自ら立ち上げた『SENSORS』でした。【エンターテインメント×テクノロジー】をテーマにさまざまな視点から未来を切り開くイノベーションを紹介する番組で、VR・AR、IoT、スマホネイティブ、ロボティクス、人工知能、フィンテック、インフルエンサー…猛スピードで進化する業界のトップランナーたちの取材を通して得た知識とコネ

クションを生かし、AX-ONから新たなビジネスを生み出すための新部署創設を役員答申したのです。

『今、何にチャレンジしているか?』

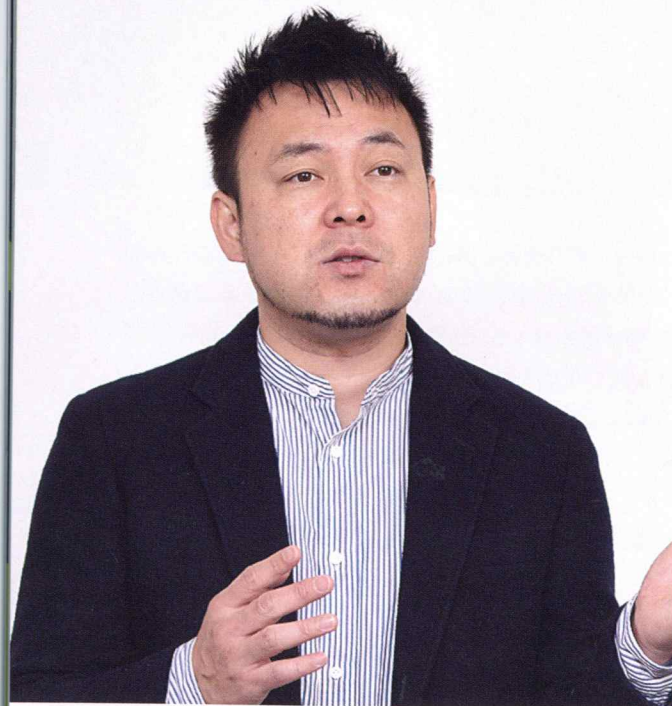
2020年東京オリンピック・パラリンピック、さらにその5年先を見据えて、番組受注以外の部分で、収益の「幹」となる新規事業を探るべく、外部企業と共同でさまざまなプロトタイプを開発を行っています。例えば『キャラ立ちした社員をYouTuber育成してインフルエンサーマーケティングを研究』\*『スマホの縦型30秒動画を作り新たな広告マネタイズに挑戦』\*『VRの最先端技術を使いコンテンツ

## 毎日がアイデアソン・ハッカソン デジタル領域であらゆるNEWを創り出す!

開発』\*『ゲーム実況が趣味という社員とeスポーツ関連事業を計画』など現在20件以上の実験プロジェクトを走らせています。

『これからの時代に必要なイノベーション人材とは?』

マサイ族も当たり前スマホを使っている時代。その流れに沿うように動画を主軸にしたスタートアップやサービスが増えています。テレビも含めより細かくユーザーの時間の奪い合いが起こり、ますます画面から目を離すことを許されなくなってしまう。その中で私たちはどんな体験をユーザーに提供するのか?そんな発想を持てる若者を募集しています!



### 藤田 信太郎

コンテンツ事業センター イノベーション事業部  
業界歴: 19年

#### ● 主な活動歴

- 「SENSORS」総合演出
- 「LINE動画ワンチャンワンドキ!」「日テレ アンドロイドERICA」
- 「avex×AX-ON合同アイデアソン」クリエイティブ・ディレクター

#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

イノベーション事業部には自ら「○○やりたい!」の名札を下げた社員がぶわーっと押し寄せてくるのですが、まるで『町内会の祭の寄所』のようで、普段は別の仕事をしている人たちが一肌脱ぎに集まったり、普段は目立たない人が一番はしゃいでいたり。この部署はその空気感に近い。所属・番組・会社など既存のコミュニティとは関係ない人たちと毎日連想ゲームのようにアイデアフラッシュを出す時間が刺激的です。

『企画戦略部』というのは恐らく、日本の制作会社の中でAX-ONが初めて立ち上げた部署ではないでしょうか。

“企画書”をツールに番組受注や媒体営業、クリエイター育成を行う専門部署。番組制作の入り口となるお仕事です。

#### ①企画営業

AX-ONは、日テレをはじめ日テレ系ネット局、NHKやWOWOW、BS局、CS局、Hulu、LINE、VRメディア…、テレビだけではなく動画配信サービスまであらゆるメディアのコンテンツを制作しています。

制作を受注する第一歩として、やりたいことを表現する“企画書”が存在します。クライアントごとのニーズをリサー

チし、約750人の社内クリエイターに伝えます。さらに、その企画書を基にクライアントへのプレゼンも行います。

たった1枚の企画書がさまざまな番組を生み出し、さらには作品賞の受賞にもつながっていく…とても重要な入り口の任務です。

#### ②クリエイターの企画力育成

企業DNA『全員クリエイター主義』を掲げ、担当業務にかかわらず全社員が企画書を提出しようという姿勢がAX-ONにはあります。企画書作成力の向上を手助けするために、3段階の企画講座を設置しています。

例えば、私が過去3回担当してきた「企画書虎の穴」という企

## AX-ONは企画を提出して仕事を取りに行く その手助けとなるべく…常に敏感に!!



### 竹内 太一

企画戦略センター 企画戦略部 / 業界歴: 16年

#### ● 主な活動歴

- ズームイン!!SUPER AD
- スポーツ中継 ディレクター兼プロデューサー  
(プロレス、ゴルフ、レスリング、箱根駅伝、東京マラソン、競輪 など)



画塾。「通る企画書」作りを目指し、約3か月の間、社内外から著名なトップクリエイターを講師として招いてきました。日テレの企画書を選考する編成局からは日テレが求める企画の考え方を、日テレGP帯のバラエティを手がける総合演出がアイデアの発想法を、エミー賞に輝いたドキュメントプロデューサーやNHKあまちゃんの監督など…各方面の旬な方々をお招きし、企画採択への極意を講義してもらってきました。

虎の穴を卒業すると、企画書作成能力が向上することはもちろん、企画書に対する考え方も変わり、自分の企画で番組を演出する者、さらに新人や2年目のクリエイターが次々と企画を通すといった相乗効果の連鎖が起こっています。

と、こんな感じでほとんどのAX-ON Creatorとは顔を合わせて企画について話をしてきました。大切にしていることは、フットワークを軽く、気軽に足を運び話しにくい姿勢です。この業界に16年いますが、自分で動かなくなった

ら終わりだと思ってます!

“企画”を考えることは、簡単ではないと思います。日々変わる視聴者のニーズ、それに対する各メディアのニーズ…世の中の流れを敏感に感じ、今だけではなく、少し先のことも予測しながら考え続けています。企画書の作り方やアイデアに困ったら気軽に相談してもらえればうれしいです。

#### ○仕事の“やりがいを感じる瞬間”

新しい番組ができるにあたり、何百もの企画書の中から1本しか選ばれません。ですが、提出しなければ勝ち取ることもできません。この部署の使命は、企画書を書いてくれているAX-ON Creator750人の企画が通るために働くということです。ですので、やはり企画を通すことができた時、とても嬉しいですね。特に、初めて企画を通した人の喜ぶ姿を見ることが何よりも楽しみです。

- 商号 株式会社日テレ アックスオン  
AX-ON Inc.
- URL <http://www.ax-on.co.jp>
- 設立 1970年(昭和45年)2月10日
- 本社 〒105-7422 東京都港区東新橋一丁目6-1 日テレタワー22階  
TEL:03-3222-3150
- 資本金 8,000万円
- 年商 227億円(2016年度実績)
- 従業員数 719名(2018年1月)
- 株主 日本テレビホールディングス株式会社(100%)
- 事業内容
  - テレビ番組・劇場映画企画及び制作  
ドラマ/映画/バラエティ/音楽/スポーツ/ニュース/情報/ドキュメンタリーなど
  - コンテンツ制作、企画営業  
CM/プロモーション映像/VFX/ミュージックビデオ/4K・8K/3D/VR/デジタルサイネージ/ケータイ・Web動画/  
官公庁・自治体・民間企業向け各種ビデオ/通販コンテンツ/インターネットホームページ/事業・イベント企画など
  - コンテンツビジネス  
字幕・解説放送/映像アーカイブ/番組・映画セールス(国内及び海外)/データ放送/EPG(電子番組表)/権利処理業務
  - 広告代理店業務  
地上波・BS・CSにおける媒体業務(ブランディング・クリエイティブ・メディアトラフィック)
  - 各種ビデオソフト・笑点カレンダー制作及び販売
- 沿革
 

1970年2月  
日本テレビ放送網(株)100%出資の子会社として発足。

2007年7月  
(株)日本テレビビデオ、(株)エヌ・ティ・ビー映像センター、(株)日本テレビエンタープライズ  
(株)日本テレビアートの制作部門を統合し、日本テレビグループの総合映像制作会社  
(株)日テレ アックスオン誕生。

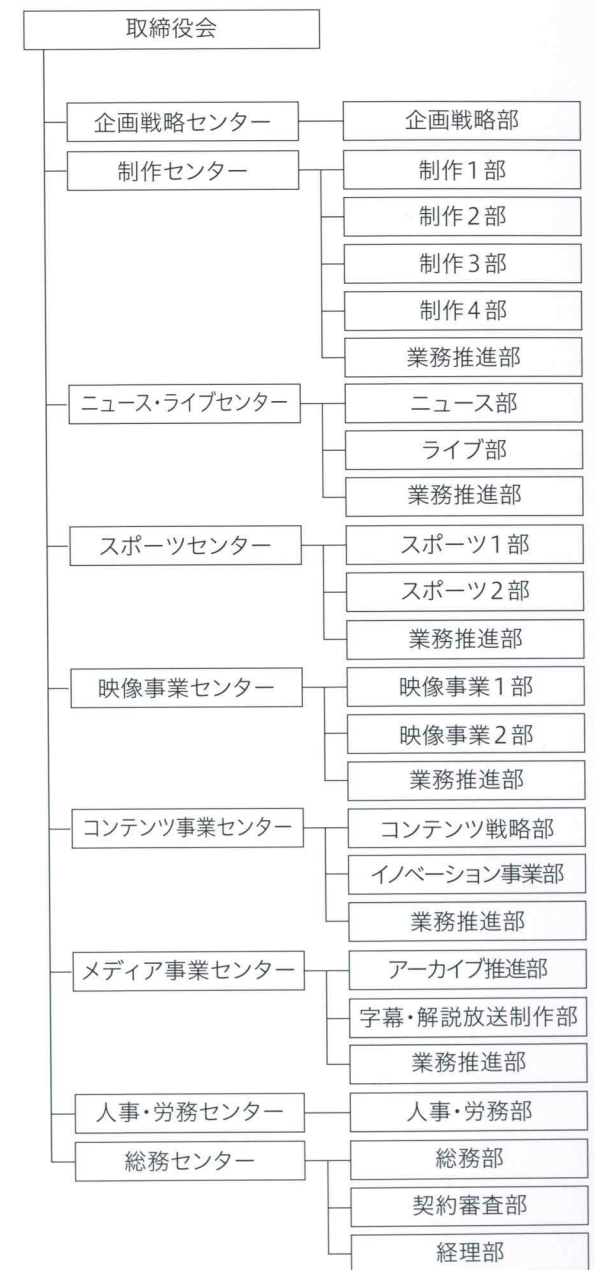
2015年12月  
本社を麹町から汐留に移転。
- 事業所
 

〒105-7422 東京都港区東新橋一丁目6-1 日テレタワー22階  
〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目2-17 下島ビル2・3・4・6・7・8・9・10階

## 【役員】2018年1月1日現在

- 取締役会長  
渡辺 弘  
1976年日本テレビ入社。  
「スーパー」のCKEY「マジカル頭脳パワー!!」「THE夜もヒッパレ」  
「24時間テレビ「愛は地球を救う」」「番組対抗クイズスペシャル」  
「平成あっぱれテレビ」「さんま&SMAP!美女と野獣のクリスマススペシャル」  
など数多くのバラエティ番組をプロデュース。  
編成局長、執行役員制作局長、取締役報道局長・人事局長を歴任し、  
2012年6月日本テレビ放送網(株)取締役常務執行役員就任。  
2013年6月日本テレビ放送網(株)取締役専務執行役員就任。  
2014年6月 弊社代表取締役会長就任。
- 代表取締役社長  
井上 健  
1982年日本テレビ入社。2002年編成局CP。  
2005年編成局ドラマ制作部長。「ハーフボテな俺たち」  
「キスの温度 いちばん近い他人」「家なき子」などを演出。  
「同窓会」「狼狽怪奇ファイル」「ごせん」「14才の母」「パンビ〜ノ」  
「マイ☆ボス マイ☆ヒーロー」等「有閑倶楽部」映画「サトラレ」など  
数々の作品をプロデュース、統括。  
制作局次長、(株)日本テレビアート代表取締役社長、事業局長代理を歴任し、  
2014年6月 弊社取締役副社長就任。  
2016年6月 弊社代表取締役社長就任。
- 専務取締役  
安岡 喜郎  
1983年ニッポン放送入社。  
「ウッチャンナンチャンのオールナイトニッポン」  
「ビートたけしのオールナイトニッポン」「伊集院光のOh!デカナイト」など  
数多くの番組を手掛ける。  
1996年日本テレビ入社。  
以降「世界まる見え!テレビ特捜部」「特命リサーチ200X」  
「世界一受けたい授業」「スクール革命!」「ヒルナンデス!」など  
数々のバラエティ番組や情報番組を担当。  
制作局CP、制作局次長、編成局次長を歴任し、  
2016年6月 弊社専務取締役就任。
- 常務取締役  
長濱 薫  
1989年NTV映像センター入社。  
「クイズ!笑って許して」「進め!電波少年」「輝け!日本民謡大賞」  
「日テレ新屋イベント夕留ジャンボリー」など  
数多くの番組、イベントをプロデュース。  
電波少年での海外ロケ選航歴は約50カ国に上り、パレスチナへ潜入しアラファト議長への  
インタビューロケを成功させている。  
弊社制作センター次長(兼)制作2部長、制作センターEP、  
企画戦略センター長を歴任し、  
2010年7月 弊社執行役員就任。  
2012年6月 弊社取締役就任。  
2016年6月 弊社常務取締役就任。
- 取締役  
森田 公三  
1987年日本テレビ入社。  
報道局で社会部記者、デスクのほか、「きょうの出来事」ディレクター、  
「真相報道バンキシャ」デスク、プロデューサー、  
CPなどを担当。  
報道局ニュースセンター長、報道局次長、  
情報カルチャー局次長兼CPを歴任し、  
2017年6月 弊社取締役就任。
- 取締役  
安澤 一成  
1986年日本テレビ入社。  
「独占!スポーツ情報」「全日本プロレス中継」「プロ野球」「箱根駅伝」  
「世界陸上」「高校サッカー」「NFL」「五輪中継&特番」  
「どんまいスポーツ&ワイド」「ニュースプラス1」「業顔がー番!」「K-1」  
「ゴルフ」大相撲勝技優勝戦「テニス」「Go ing!スポーツ&ニュース」  
「体操」「レスリング」「バスケットボールBリーグ」などの  
番組でディレクター、プロデューサー、チーフプロデューサーを担当。  
1994年アトランタ支局長、1998年長野五輪組織委員会ベニュー統括、  
2004年アテネ五輪「OCアタッシュ」、  
2006年トリノ五輪CPなど五輪関連業務を数多く経験。  
報道局(外報部・ニュース編集部)を経て、スポーツ局担当CP、編成局宣伝部副部長、  
スポーツ局スポーツ事業推進部長を歴任し、  
2017年6月 弊社取締役就任。
- 取締役  
中村 正人  
1981年日本テレビ入社。  
経理局経理部長、経理局財務部長、経理局次長を歴任し、  
2009年 日活(株)取締役就任。  
2013年6月 弊社取締役就任。
- 非常勤取締役 小杉 善信  
日本テレビホールディングス(株)専務取締役
- 非常勤取締役 佐藤 大太郎  
日本テレビホールディングス(株)経営戦略局グループ推進部長
- 監査役 安藤 天志  
日本テレビホールディングス(株)経営管理局経理部長
- ジェネラル クリエイター執行役員 五味 一男

## 【会社組織図】2018年1月1日現在



- 上席執行役員 山田 哲也 (メディア事業センター長)
- 上席執行役員 角谷 幸仁 (人事・労務センター長)
- 上席執行役員 伊在井 千晴 (企画戦略センター長)
- 執行役員 平石 浩章 (映像事業センター長)
- 執行役員 齋藤 寿弥 (ニュース・ライブセンター長)
- 執行役員 佐藤 一 (制作センターED)
- 執行役員 中島 悟 (制作センターED)

AX-ON Inc.  
<http://www.ax-on.co.jp/>